

若者憲法集会

憲法×高校生



▶「それぞれが考える『日本が平和な世界をつくるために必要なことは何だと思うか?』の答えを掲げてアピールする参加者」

6月3日、都内で開催された若者憲法集会の高校生分科会には、全国から69人が集まりました。「憲法は国民が権力を監視するための土台だと思おう」「集会に参加して自分なりの意見を言うようになりたい」など、高校生同士の自由な意見交換が行われました。分科会と全体会、デモに参加した高校生の思いを紹介します。(高校生は仮名、塩田悠玄記者)

9条が守られる社会のために

憲法の理念深め合った

高校生分科会「みんなで学び、語ろう!」憲法9条と高校生の未来」では、弁護士の菊池智史さんが例え話を交えながら憲法の理念について話しました。

菊池さんは「民主主義は単なる多数決ではない」と動物園のライオンとおりに例え「権力者をおりに入れて、国民の側で権力者を縛るという考え方」と話しました。

次に「憲法の中でも基本的人権が一番大切といわれている」と話します。仮に菊池さんを黙らせる法律ができたとしても、憲法21条1項の「表現の自由」(基本

義」と菊池さん。憲法の平和主義についても『お花畑だ』と批判する人もいるけれど、むしろ現実的な考え方」と強調しました。

島根から参加した山野美紀さん(2年)は解説をふり返り、「改憲の必要性について」国民への理解を深める必要があるのなら、誰にでも分かるように説明するべき」と感想を話します。

「自分も例え話を使いながら友だちに憲法について話してみたい」

「自分も例え話を使いながら友だちに憲法について話してみたい」



▲率直に意見を出し合い交流した高校生分科会

高校生同士で話すから見えてくる

「街で聞いた」の『仮想通貨』580億円流出事件 さらなる法整備を(4月9日付)を読んで。仮想通貨の種類が1500以上あることに驚きです。(そんなに種類が必要でしょうか?)。(大阪 ラック)

自民党(憲法改正推進本部)は3月22日に憲法9条と問いかけてきました。議論の中で「どうすれば安心できるのか分からなくなった」の1項の戦争放棄、2項の戦力不保持を変えず、「9と藤原さん。「戦力や自衛隊の2」を付け加え、自衛隊を明記することで9条の縛りをなくす「空文化」をねらっています。グループ討論では、9条の解釈や自衛隊の明記についても自由な議論が交わされました。壺玉の藤原大介さん(1年)は「個別的自衛権の範囲内での戦力を所持するな」と発言し、答えられなかった。その発言を受け、田畑さんは「どれだけの戦力



▲分科会では菊池さんが、高校生に憲法の理念などについて問いかけて話を進めた